

特別回報

外航組合員各位

EU・英国・米国による対ロシア制裁に関する最新情報

EU、英国および米国は、2025 年 10 月と 11 月にロシアに対する新たな制裁を導入しました。

詳細は後述しますが、主要な共通項目は以下のとおりです。

- ・ ロシアのエネルギー部門、特に LNG（LNG 輸送に関する保険を含む）と大手石油会社を標的とした制裁の連携強化
- ・ シャドーフリートの活動と制裁回避を支援する第三国支援者に対する監視の強化
- ・ 制裁迂回を防止するための輸出規制の拡大と金融的措置の強化

EU 制裁—第 19 次パッケージ

2025 年 10 月 23 日、EU 理事会は、[第 19 次制裁パッケージ](#)を導入しました。[理事会規則第 833/2014 号](#)と[第 269/2014 号](#)を改正し、ロシアのエネルギー部門、金融インフラおよび軍産複合体に対する制裁措置を大幅に拡大しました。主な措置は以下のとおりです。

エネルギー部門

- ・ ロシア産またはロシアから輸出される LNG の EU への輸入を全面的に禁止
 - 短期契約については、**2026 年 4 月 25 日**から禁止
 - 長期契約（2025 年 6 月 17 日以前に締結され、期間が 1 年を超える契約）については、**2027 年 1 月 1 日**から禁止
- ・ 上記の LNG 輸入禁止に関連する技術・金融支援（保険を含む）の禁止
- ・ EU 港湾におけるロシア LNG の積み替えの禁止
- ・ ロスネフチおよびガスプロム・ネフチとの取引禁止の強化

第三国支援者

- ・ ロシア産原油を購入している中国の事業体（製油所 2 社および貿易部門）を制裁指定
- ・ リタスコ・ミドル・イースト（ルクオイルの UAE 拠点会社）を制裁指定

追加措置

- ・ 69 個人を制裁指定
- ・ ロシアの軍産複合体を支援している 45 団体を制裁指定
- ・ 117 隻の船舶を制裁指定し、港湾利用と海運関連の広範なサービス（保険を含む）の提供の禁止（これにより制裁対象船舶は総計 557 隻）
- ・ ロシア関係者により以前運航されていた船舶について、第三国の購入者・賃借人に売却・リースされた後 5 年間、特定の形態の保険・再保険を提供することの禁止

- 電子部品、軍事用金属および工業製品に対する輸出管理の拡大
- 軍事システムとアクリル系炭化水素に使用される追加金属、酸化物および合金の輸入制限
- シャドーフリート船舶に虚偽の船籍登録を行った団体の制裁指定
- 理事会規則第 833/2014 号では対象とされていないロシア政府へのサービスの提供の事前承認要件
- ロシアの銀行 5 行（Istina Bank、Zemsky Bank、Commercial Bank Absolut、MTS Bank および Alfa-Bank）を取引禁止対象に追加し、ベラルーシとカザフスタンの銀行 4 行もロシアの金融決済システムとの関係を理由に取引禁止対象に追加

英国制裁

2025 年 11 月 12 日、英国は、ロシア LNG に対する海事サービス提供の禁止措置を導入する意向を発表しました。[プレスリリース](#)では次のように述べられています。

この措置により、英国の世界的な海事サービスが利用できなくなり、ロシア LNG の輸出量は著しく減少するだろう。この禁止措置は、欧州のパートナーと足並みをそろえ、2026 年を通じて段階的に導入する予定。

英国は、2023 年 1 月にロシア LNG の輸入を禁止した。今般、さらにロシア LNG の第三国向け輸出に対する海上輸送と関連サービス（保険等）の提供を禁止することにより、英国関連の船舶とサービスは、ロシア LNG の国際輸送のために使用できなくなる。

海事サービス提供禁止の導入方針の発表は、英国が 10 月 15 日にロスネフチ、ルクオイル、ネヤラ・エナジー社（ロスネフチが 49%の株式を保有するインドの製油会社）およびその他会社を制裁対象に指定したことに続くものです。これらの措置に関する英国のプレスリリースは、[こちら](#)でご覧いただけます。

ロスネフチとルクオイルが英国の資産凍結リストに追加

- 資産凍結対象に 90 件を追加指定（以下を含む）
 - 中国の石油ターミナル 4 社
 - インドのナヤラ・エナジー
 - 51 隻のタンカーと LNG 船
 - ロシアの金融機関 5 社
 - 防衛関連団体

一般許可

- General Licence [INT/2025/7539056](#) は、ロスネフチ、ルクオイルおよびこれらの会社が所有・支配する事業体が関与する取引を解消するための猶予期間を認めるものであり、猶予期間の期限は 2025 年 11 月 28 日 23:59。
- General Licence [INT/2025/7538856](#) は、ナヤラ・エナジーを含む特定のエネルギー会社との取引を解消するための猶予期間を認めるものであり、猶予期間の期限は 2025 年 11 月 13 日 23:59。
- 2025 年 10 月 22 日、英国金融制裁実施局（OFSI）は、General Licence [INT/2025/7598960](#) を発表し、ロスネフチの子会社である Rosneft Deutschland GmbH と RN Refining and Marketing GmbH が関与する事業を認可した。OFSI はまた、FAQ (no.169) を更新し、これらの会社は 2022 年以降ドイツ政府の信託管理下にあることから、英国制裁はこれらの会社の

事業に不利益を与えることを目的としていないことを確認した。

米国制裁

2025 年 10 月 22 日、米国は、ロシアの石油大手 2 社に対して[全面的な資産凍結制裁](#)を科しました。

- ロスネフチとルクオイルを子会社とあわせて **SDN** リストに掲載
- 両社のいずれかが 50%以上所有するあらゆる事業体も資産凍結の対象
- 米国財務省海外資産管理局（OFAC）は [Russia-related General License 126](#) を含む 4 種類の一般許可を発行し、ロスネフチまたはルクオイルとの取引を解消するための **2025 年 11 月 21 日**までの猶予期間を設定

影響

以上の措置により、ロシアに対する制裁はさらに強化されます。第三国に輸送されるロシア LNG に対する保険提供の禁止措置に加えて、ロシア石油大手のロスネフチとルクオイルに対する措置が重要です。英国と米国の各一般許可で認められた猶予期間内に、これらの会社とのあらゆる商業・契約関係（用船契約を含む）を終了し、これらの会社が貨物所有者である可能性のある貨物を荷揚げしなければなりません。遅くとも 2025 年 11 月 21 日までに完了させる必要があります、これを怠った場合、関係当局により制裁措置が科されるおそれがあります。

制裁違反の取引には保険が適用されませんので、組合員におかれましては、制裁リスクが高い取引を行う前に、関係者、貨物、船舶、その他のサービスプロバイダーについて、取引全体を通じて徹底的なデューデリジェンスを行い、その調査結果を記録に残すことを強く推奨いたします。

国際 P&I グループの全てのクラブが同様の内容の回章を発行しています。

以上